

# SWAおよびSMAのラベルとOID値のデコード

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[SWAサンプル出力](#)

[CPU使用率](#)

[メモリ使用率](#)

[ディスク使用率](#)

[CPU温度](#)

[ファンテーブル](#)

[電源装置\(PSU\)のステータス](#)

[インターフェイスリンクステータス](#)

[SMAサンプル出力](#)

[電源装置\(PSU\)のステータス](#)

[ファンテーブル](#)

[CPU使用率](#)

[メモリ使用率](#)

[ディスク使用率](#)

[CPU温度](#)

[インターフェイスリンクステータス](#)

[OIDの表示](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、セキュアWebアプライアンス(SWA)内のオブジェクト識別子(OID)に関する情報を読み取る手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SWA管理
- Simple Network Management Protocol(SNMP)の基本
- ネットワーキングの基本原則

Cisco では次の前提を満たす推奨しています。

- 物理または仮想SWAがインストールされている。
- SWAコマンドラインインターフェイス(CLI)への管理アクセス。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

Cisco Secure Web Appliance(SWA)およびSecurity Management Appliance(SMA)を使用しているネットワーク管理者およびITプロフェッショナルにとって、snmpwalkコマンドは、効果的な監視と管理に必要なOID値を取得するための重要なツールです。

snmpwalkはmacOSでも簡単に使用できますが、WindowsおよびLinuxシステムでは追加のセットアップが必要になるため、一部のユーザでは使用できない場合があります。

この問題を解決するために、ラボでsnmpwalkコマンドを実行し、参照用の出力を提供しています。このリソースの目的は、これらの参照出力を提供することで、セットアップの制限に直面しているユーザをサポートし、SWAおよびSMA環境の管理を支援することです。

OIDはネットワーク管理において重要な役割を果たし、さまざまなネットワーク要素の識別と相互作用を可能にします。snmpwalkを利用すると、ユーザは重要なOIDに関連付けられた値を効率的に取得して解釈し、SWAおよびSMAシステムのモニタリングと管理を強化できます。このガイドでは、snmpwalkを使用してこれらの主要なOID値にアクセスする方法を説明しています。これにより、ネットワーク管理機能が向上します。

## 解決方法

ここには、一連のOID名、snmpwalkコマンドの構文、および出力例が示されています。

### SWAサンプル出力

#### CPU使用率

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

-m "ALL"

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.2.0

ASYNCS-MAIL-MIB::perCentCPUUtilization.0 = INTEGER: 16

## メモリ使用率

snmpwalk -O a -v 2c -c

-M

-m "ALL"

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.1.0

ASYNCS-MAIL-MIB::perCentMemoryUtilization.0 = INTEGER: 11

## ディスク使用率

snmpwalk -O a -v 2c -c

-M

-m "ALL"

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.27.0

ASYNOS-MAIL-MIB::diskUtilization.0 = STRING: Total\_disk\_space: 198.391 GB, Available\_disk\_space: 107.8

## CPU温度

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

-M

-m "ALL"

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.9.1.2

## ファンテーブル

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

-M

-m "ALL"

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10

## 電源装置(PSU)のステータス

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

```
-M
```

```
-m "ALL"
```

```
.1.3.6.1.4.1.9.9.117.1.3.1
```

---

 注：このコマンドの出力「1」は、PSUが取り付けられていないことを意味し、「2」はPSUが正常であることを意味し、「3」はAC電源が供給されていないことを意味し、「4」はPSUが故障していることを意味します。

---

## インターフェイスリンクステータス

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

```
-M
```

```
-m "ALL"
```

```
.1.3.6.1.4.1.15497.1.2.5.1
```

---

 注：このコマンドの出力で、「1」はインターフェイスがアップしていることを意味し、「2」はインターフェイスがダウンしていることを意味します。

---

## SMAサンプル出力

### 電源装置(PSU)のステータス

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

```
-m
```

```
.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.8
```

```
iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.8.1.1.1 = INTEGER: 1  
iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.8.1.2.1 = INTEGER: 2  
iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.8.1.3.1 = INTEGER: 1  
iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.8.1.4.1 = STRING: "PS 1"
```

---

 注：このコマンドの出力「1」は、PSUが取り付けられていないことを意味し、「2」はPSUが正常であることを意味し、「3」はAC電源が供給されていないことを意味し、「4」はPSUが故障していることを意味します。

---

### ファンテーブル

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10

- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.1 = INTEGER: 1
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.2 = INTEGER: 2
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.3 = INTEGER: 3
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.4 = INTEGER: 4
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.5 = INTEGER: 5
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.6 = INTEGER: 6
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.7 = INTEGER: 7
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.8 = INTEGER: 8
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.9 = INTEGER: 9
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.10 = INTEGER: 10
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.11 = INTEGER: 11
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.12 = INTEGER: 12
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.13 = INTEGER: 13
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.1.14 = INTEGER: 14
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.1 = Gauge32: 10500
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.2 = Gauge32: 10712
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.3 = Gauge32: 10500
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.4 = Gauge32: 11227
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.5 = Gauge32: 10500
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.6 = Gauge32: 11227
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.7 = Gauge32: 10500
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.8 = Gauge32: 11227
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.9 = Gauge32: 10080
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.10 = Gauge32: 10712
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.11 = Gauge32: 10500
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.12 = Gauge32: 11227
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.13 = Gauge32: 10500
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.2.14 = Gauge32: 10712
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.1 = STRING: "FAN 1"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.2 = STRING: "FAN 2"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.3 = STRING: "FAN 3"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.4 = STRING: "FAN 4"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.5 = STRING: "FAN 5"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.6 = STRING: "FAN 6"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.7 = STRING: "FAN 7"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.8 = STRING: "FAN 8"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.9 = STRING: "FAN 9"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.10 = STRING: "FAN 10"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.11 = STRING: "FAN 11"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.12 = STRING: "FAN 12"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.13 = STRING: "FAN 13"
- iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.10.1.3.14 = STRING: "FAN 14"

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

```
-m
```

```
.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.2.0
```

```
iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.2.0 = INTEGER: 0
```

## メモリ使用率

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

```
-m
```

```
.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.1.0
```

```
iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.1.0 = INTEGER: 0
```

## ディスク使用率

```
snmpwalk -O a -v 2c -c
```

```
-m
```

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.27.0

iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.27.0 = STRING: "Total\_disk\_space: 556.391 GB, Available\_disk\_space: 526.995 G

## CPU温度

snmpwalk -O a -v 2c -c

-m

.1.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.9.1.2

iso.3.6.1.4.1.15497.1.1.1.9.1.2.1 = INTEGER: 35

## インターフェイスリンクステータス

snmpwalk -O a -v 2c -c

-m

.1.3.6.1.2.1.2.2.1.8

iso.3.6.1.2.1.2.2.1.8.1 = INTEGER: 1

iso.3.6.1.2.1.2.2.1.8.2 = INTEGER: 2

 注：このコマンドの出力で、「1」はインターフェイスがアップしていることを意味し、「2」はインターフェイスがダウンしていることを意味します。

## OIDの表示

シスコでは、コンテンツセキュリティアプライアンスのOIDリストを提供していません。Paessler MIB Importedなどのサードパーティ製MIBブラウザアプリケーションを使用すると、MIBファイルをビューOIDに変換できます。このサードパーティアプリケーションはこの[リンク](#)からダウンロードできます。

OIDを読み取る手順は次のとおりです。

ステップ 1：MIBブラウザソフトウェアのダウンロード

ステップ 2：コンテンツセキュリティアプライアンスのMIBファイルをダウンロードします(最新のMIBファイルは[ここ](#)からダウンロードできます)。

Contact Cisco  |  Other Languages

Getting Started with Cisco Secure Web Appliance:

[Step-by-step Guide: Cisco Secure Web Setup](#) | [Cisco Talos IP & Domain Reputation Center](#)

[Web Security Training Videos](#) | [Cisco Secure Web Appliance - Official YouTube Channel](#)

AsyncOS MIB Info for version 15.0: [Web MIB](#) | [Mail MIB](#) | [SMI MIB](#)

イメージ：MIBファイルのダウンロード

ステップ 3：MIBファイルをアプリケーションにインポートします。

 注:SMI MIBとWeb MIBをダウンロードしてインポートする必要があります。

ステップ 4：MIBファイルで定義されているすべてのOIDを表示できます。

 注：ファンテーブルや電源に関連するOIDなど、特定のOIDでは、仮想ラボ環境で何も出力されない場合があることに注意してください。これは、これらのコンポーネントが仮想アプライアンスに存在しないためです。

## 関連情報

- [AsyncOS 15.2 for Cisco Secure Web Appliance ユーザガイド](#)

- [SWAでのSNMPの設定およびトラブルシューティング](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。